

監査

監査事務所検査結果事例集・モニタリングレポートの改訂版、公表

CPA AOB

去る7月15日、公認会計士・監査審査会（以下、「審査会」という）は、「監査事務所検査結果事例集（令和4事務年度版）（以下、「事例集」という）」および「令和4年版モニタリングレポート（以下、「モニタリングレポート」という）」を公表した。

審査会では、毎年、監査事務所に対する検査で確認された指摘事項を事例集として、また、審査会が実施するモニタリング活動の状況や監査業界の現状などをモニタリングレポートとして取りまとめ、公表している。

「監査事務所検査結果事例集」のポイント

最新の事例を追加するとともに、特に中小規模監査事務所における改善に資するよう、「評価できる取組」の事例を充実させている。

「Ⅰ. 業務管理態勢編」では、新たに「品質管理基準等の改訂への対応」の項目を追加し、概要について記載している。

「Ⅲ. 個別監査業務編」では、新たに「監査上の主要な検討事項（KAM）」の項目を追加したほか、監査の品質の向上に向けた監査手続の検討をより効果的に実施できるように、「監査業務の実施」において、数多く指摘されている項目に係る根拠規定および留意点を一覧表の形にして記載している。

「モニタリングレポート」のポイント

(1) 「Ⅰ. 監査業界の概観」
公認会計士・監査法人の概況、被監査会社や新規上場（IPO）監査等の状況について更新した。

(2) 「Ⅱ. 審査会によるモニタリング」

モニタリング関係のデータ更新のほか、審査会第7期（令和4年4月～令和7年3月）の監査事務所等モニタリング基本方針および令和4事務年度監査事務所等モニタリング基本計画の説明を記載した。

(3) 「Ⅲ. 監査事務所の運営状況」

監査事務所の運営状況に係るデータを更新するとともに、現在の監査事務所におけるリモートワークへの取り組みをコラムに記載した。

(4) 「Ⅳ. 監査をめぐる環境変化への対応」

近時の監査をめぐる環境変化を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響と対応やKAMへの対応状況、会計監査に関する最近の動向などについて更新したほか、KAMの報告に係る監査法人の体制の一例を記載した。

審査会としては、適正な会計監査が確保されるよう、事例集

やモニタリングレポートの内容を参考に、被監査会社等と会計監査人とのコミュニケーションが一層積極的に行われることを期待している。

事例集およびモニタリングレポートの全文は、審査会ウェブサイトに（事例集：<https://www.fsa.go.jp/cpaob/shinsakensa/kouhyou/20220715/20220715-3.html>、モニタリングレポート：<https://www.fsa.go.jp/cpaob/shinsakensa/kouhyou/20220715/20220715-2.html>）から参照することができ

*

*